

基本目的 6 市民が自立して生活できる

行動目標 6-3 高齢者が健康で安心と生きがいある長寿社会になる (所管課名 保健福祉部介護・高齢福祉課)

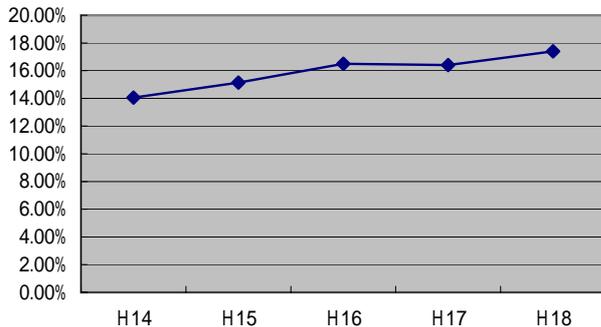
任務 元気な高齢者が自分の能力を活かした社会活動ができるように支援する

任務の成果・活動指標の推移

要介護認定率(65歳以上認定者数 / 65歳以上人口)

| | |
|-------|---------|
| H14実績 | 14.05% |
| H15実績 | 15.14% |
| H16実績 | 16.50% |
| H17実績 | 16.40% |
| H18目標 | 17.4%以下 |

要介護認定率



指標の説明

元気な高齢者が多いということは、要介護認定率(65歳以上要介護認定者数 / 65以上人口)が低いと考えられ、市民にわかりやすいことなどを考慮し、この指標を選定した。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

60歳以上の老人クラブへの加入率は、30%に達しておらず年々減っているが、地域の子どもの登下校時の見守りに取り組むなど、地域のために活動する老人クラブも多い。

高齢者が軽スポーツを通じて健康を増進することを目的に老人クラブ等が設置する憩いの広場を整備する費用の一部を補助した。

活動指標である要介護認定率は平成16年10月実績16.5%から平成17年10月16.4%に下がった。

平成18年度

四日市市老人クラブ連合会を通じて老人会への加入促進を図る。

各町老人クラブ等への補助を継続し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する。

これからの課題、施策等展開の方向性

平成18年4月から介護保険制度改正の中で、介護予防事業が位置づけられた。この取組により要介護認定率を抑制していく。

保健センター・地域包括支援センター・在宅介護支援センターと連携し介護予防事業を行う。